KSB代理店
鈴木博子
代表



090-5115-9713
静岡県磐田市東名576－1

注目の在宅医療関連サービスへのインタビュー取材「PICK UP！在宅医療サービス」の第2回目は静岡県磐田市にてPVC®繊維にて介護向けの寝具や装具の開発・販売を手掛ける「KSB代理店」を運営されている鈴木博子代表です。これまでの歩み、これからの介護にかける思いを熱く語っていただきました。（2025年6月取材）

鈴木代表のこれまで

健康の原点「食」への取り組みについてお聞かせください。



食に興味を持ったのは、食に厳しかった父の影響が大きいです。「体は資本だよ」と常に言われて育ちました。私自身もお料理が好きだったので、高校卒業と同時に調理師の免許を取得しました。当時は「いつか何かの役に立つかな」くらいの気持ちでしたけれど（笑）。
結婚してからは、自分の子どもたちのために天然酵母でパンを焼いたり、父が作ってくれた無農薬の野菜を使ったりと、とにかく体に良いものを、と心がけていました。「うちではウィンナーは食べないよ」なんて、今思うと子どもたちには厳しかったかもしれませんね（笑）。
「白い卵は食べないよ」。白い卵は有精卵とは餌が違うので、白い卵は食べなかった。子どもが一人暮らしを始めた時に、お金が無くて、白い卵をしばらく冷蔵庫の中に入れておいて、友達のところから帰ってきて、冷蔵庫を開けたら卵が割れて、すごい臭い匂いがして、子供から電話が掛かってきて、「この臭い匂いはどうしたら消えるの？」と言われ、私は卵のことにうるさく言ってきました。子供が初めてそこで経験してびっくりしていました。こんな事があり、だからこそうるさく言っていました。（笑）

ご家庭での実践から、より深く食の世界に入り込むきっかけがあったのでしょうか？

はい、決定的な出来事がありました。母が高血圧を患ったのですが、その原因の1つが市販のお味噌に含まれる塩分だったんです。そのことを病院の先生から指摘され、何気なく口にしているものが、いかに体に影響を与えるかを目の当たりにしました。本当にショックでした。この経験から、「もっと食について深く学ばなくては！」と強く思うようになり、先生方と情報交換をさせていただきながら、味噌や梅干しを手作りするようになりました。
次第に、私が作ったお味噌や梅干しを「美味しい」「体が喜ぶ感じがする」と言ってくださる方が増えてきて、「作り方を教えてほしい」と自宅に集まってくれるようになったり他で頼まれたり。和食のお

店で使ってくださり、そして、これまでの活動の集大成として、令和4年に「食育ナビゲーター」の認定をいただきました。論文を提出したり、面談を受けたりと大変でしたが、静岡県では私が初めての認定者だと伺い、身の引き締まる思いでした。

食育ナビゲーターとして、一番伝えたいことは何ですか？

一番は「作る人の心」です。「美味しくなあれ」と愛情や感謝を込めて作ると、その気持ちは必ず食べる人に伝わって、心も体も元気にする力があると信じています。逆に、嫌々作ったお料理は、そのマイナスの気も一緒に体に入ってしまいます。だから、とにかく楽しく作ることが大切だとお伝えしています。

もう1つの健康の原点である「睡眠」についてもお聞かせください。

はい、睡眠に関わるようになったのは、今から31年前、私自身がひどい花粉症に悩まされたのがきっかけです。当時は本当に辛くて、夜は眠れないし、鼻が詰まって食事の支度もできないほどでした。病院で処方された薬を飲み続けていたら、あるお医者様から「このままだと10年後には骨がボロボロになって、認知症になりますよ」と衝撃的な宣告をされたんです。

本当に目の前が真っ暗になりました。先生がおっしゃるには、原因の1つは私が使っていた綿の布団にあるとのことでした。ダニの温床になりやすい綿の布団が、アレルギーを悪化させていたんですね。そして先生は、私に3つの選択肢を示しました。「鼻の粘膜を焼くか、10年かけて食事療法で体質改善をするか、それとも、今すぐ寝具を変えるか」と。

人は寝ている間に汗と一緒に老廃物を出すことで体を回復させます。当時の私は薬のせいで体内に毒素が溜まっている状態でしたから、質の良い睡眠でしっかりデトックスすることが一番だと思い、「寝具を変えます！」と即決しました。

先生に紹介された特別な繊維の寝具を使い始めて2週間後、洗濯をしたら、繊維に汗や皮脂が吸着していたのか、洗濯後の排水が濁っていたのが印象的でした。あんなに苦しんだ花粉症の症状が和らいだように感じました、子どもたちも「お母さん、魔法みたいだね！」と大喜びでした。この感動的な体験が原点となり、「睡眠環境を整えることの大切さを、一人でも多くの人に伝えたい」という思いで、31年間活動を続けています。

温めて、出す。介護の現場も支えるデトックス繊維

PVC®繊維を使い始めたころのエピソードをお願いします。

このPVC®繊維を使った寝具で体が楽になり、花粉症による不快感も軽減されたようでした。あまりの劇的な変化に、周りの友人たちも「花粉症が治ったの！？」と本当に驚きました。「ぜひ私にも紹介してほしい」という声がたくさん寄せられるようになったんです。

この素晴らしい体験を私の中だけで留めておくのはもったいない、もっと多くの人にこの快適さを届けたい、という思いが日に日に強くなっていきました。そして、この出会いから約2年後の1993年に、この製品を扱う代理店として個人事業を開業することを決意しました。

このPVC®繊維はどのようにして生まれたものなのでしょうか？

それが、とてもユニークな始まりなのです。もともとは、競走馬のために開発されたと聞いています。お乳が張って苦しんでいる馬に、この繊維で作った布を巻いてあげたところ、すごく状態が良くなったそうなのです。.....

続きはQRコードからアクセスしご覧ください　→ → →

おうち de 医療

在宅医療com株式会社
〒107-0062　東京都港区南青山3-1-36青山丸竹ビル6F
service@zaita9iryou.com